

擔保附社債信託法案特別委員會議事速記第一號

委員氏名

委員長

子爵岡部 長職君

副委員長

松岡 康毅君

委員

子爵堤

功長君

子爵新莊 直陳君

名村 泰藏君

平山

成信君

小松原英太郎君

山脇 玄君

男爵吉川

重吉君

男爵藤大路親春君

馬屋原 彰君

富井

政章君

木下 廣次君

菊池 武夫君

穂積

八束君

明治三十八年二月二日(木曜日)午前十時四十分開會

○副委員長(松岡康毅君) 是ヨリ擔保附社債信託法案ノ審査委員會ヲ開キマス、諸君ニ御相談イタシマスガ、先ツ第一ニ政府委員ヨリ本案ノ大體ニ付テ一ト通りノ説明ヲ承ルコトニ致シタラ如何デゴザイマセウカ

○名村泰藏君 至極結構デゴザイマス

○平山成信君 至極結構デゴザイマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 一應此法案ノ大體ノ趣旨ヲ申上ゲテ置キマス、此法案ノ提出ノ理由ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ司法大臣ヨリ大體述ベマシタ通りノ次第デゴザイマス、社債ノ信用ヲ鞏固ニ致シマス爲ニ社債ニ物上擔保ヲ附スルコトガ必要デアリマスルト云フコトハ固ヨリ辯明ヲ要シマセヌ次第デゴザイマス、然ルニ此現行ノ法制ノ下ニ於キマシテ社債ニ物上擔保ヲ附スルコトハ甚ダムツカシイデゴザイマス、勿論現行ノ商法ニ於キマシテ物上擔保ヲ社債ニ附スルコトハ特ニ禁ジテアル條文ハゴザイマセヌデアリマスガ、併シ之ヲ運用スルニ付キマシテノ規定ト云フモノハ御承知ノ通り備テ居ラナイデアリマス、就キマシテハ其缺漏ヲ補ヒマス爲ニ社債ニ物上擔保ヲ附シマス場合ノ規定ヲ設ケマスルト云フコトハ最モ必要ナコトト考ヘマス、然ラバ此社債ニ物上擔保ヲ附スルニ就キマシテハ、ドウ云フ方法ニ依リマシタラバ一番至當デアラウカト云フコトニ就キマシテモ種々考案ヲ運ラシマシタ次第デアリマスガ、就中此信託ノ方法ニ依リマシテ社債ニ物上擔保ヲ附スルコトガ最モ適當デアラウ、斯ウ云フ考カラ致シマシテ此法案ヲ起草スルニ至リマシタデアリマス、ソレデ社債ニ物上擔保ヲ附スルニ就キマシテ信託ノ方法ニ依リマシテ云フコトハ、ドウ云フ意味ニナルカト云フコトヲ考ヘマスルト、御承知ノ通り社債ヲ發行イタシマスルト云フト、社債權者ト云フモノガ多勢居リマス、各自ガ擔保權ヲ享有イタシマシテ、之ヲ實行スルト云フコトハ甚ダ煩雜ナ事ニモ相成リマス、其實行ト云フコトハ餘程ムツカシイコトニナリマスデアゴザイマス、ソレデ誰カ全部ノ社債權者ノ爲ニ其擔保權ヲ享有イタシマシテ且ツ之ヲ實行スルト云フモノガ必要ニナラデアル、詰リ此法案ニ於キマシテ其職務ニ當リマス者ハ即チ受託會社デアアルデアゴザイマス、此信託ト云フコトニ付キマシテハ色々ムツカシイ議論モアルカモ知レマセヌガ、免ニ角信託ト云フコトノ大體ノ觀念ハ詰リ斯ウ云フコトニナルダラウト

考ヘマス、或人ガ他人ノ爲ニ權利ヲ享有イタシマシテ且ツ之ヲ實行スルト斯ウ云フコトニ實質ハ相成ルデアアル、之ヲ此法案ニ當テテ申シマスルト、詰リ此受託會社ト云フモノガ社債權者總體ノ爲ニ擔保權ト云フモノヲ享有イタシマシテ、且ツ社債權者總體ノ爲ニ之ヲ實行スル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、ソレデ斯ノ如キ法律關係ヲ發生イタシマス原因ニ付キマシテハ或ハ其利益ヲ享ケマス者ト擔保權ヲ其者ノ爲ニ享有シ且ツ實行スル者トノ間ノ契約デテ之ヲ設ケルコトモ出來マセウシ、或ハ又權利ヲ享有シ權利ヲ實行イタシマス者ト第三者トノ契約ニ依リマシテ之ヲ設ケルコトモ出來マスデアリマス、デ此法案ニ於キマシテハ結局此社債ヲ發行イタシマス所ノ會社即チ委託會社トツレカラ權利ヲ享有シ又ハ實行イタシマス會社即チ受託會社トノ契約ニ依リマシテ其法律關係ガ制定サレルコトニナリマス、結局此契約ハ委託會社ト受託會社トノ契約ニ相成リマシテ其利益ノ及ビマス所ハ全體ノ總社債權者、斯ウ云フコトニナリマスデアリマス、斯ノ如ク相成リマスト云フト總社債權者ト云フモノハ社債ノ募集ニ應ジマシタ後ニ勿論債權者ニ相成リマス、併ナガラ其者ハ社債ニ附シテアリマス所ノ物上擔保ヲ享有シテ居リマス名義人ニハ相成ラナイ、從テ自ラ之ヲ實行スルト云フコトハ出來ナイ、其名義人ニ相成リマス者ハ社債權者デアリマセヌ所ノ受託會社、又之ヲ實行イタシマス者モ其受託會社ニナリマセヌ、如キ關係ニ相成リマスカラシテ茲ニ又受託會社ナル者ト社債權者トノ間ニ一ツノ法律關係ガ起テ參リマス、受託會社ト云フ者ハ成ルホド自分ガ擔保權ノ名義人デアリ、又之ヲ實行スル人デアリマスケレドモ、併シ擔保權ヲ享有スルト云フコトハ詰リ總社債權者ノ利益ノ爲ニスルデアリマスカラシテ、自己ノ爲ニ之ヲ實行スルト云フコトハ出來ナイ、何處何處マデモ總社債權者ノ爲ニ之ヲ實行シテ參ラナケレバナラヌ所ノ義務ヲ負擔スルコトニナリマス、從テ總社債權者ハ受託會社ニ對シマシテ、斯ノ如ク擔保權ヲ實行セシムルト云フ權利ヲ有スルニ至ルデアアル、是ガ即チ此擔保附社債ノ信託ニ依テ發生シマス所ノ法律關係ノ大要ニ相成リマス、其事ハ此條文ノ中ノ信託契約ノ效力ト云フ所デ規定ヲ致シテ居リマス、ソレデ大體サウ云フ法律關係ガ發生シマスコトニナリマスデアゴザイマスガ、其當事者ニナリマス者ハ唯今申上ゲマシタ所デ明瞭デアリマスガ、唯之ニ付キマシテ法律上制限ヲ設ケル必要ガゴザイマスルデア、此第一章ノ通則ニ於キマシテ信託會社ニナリマスモノニ付キマシテ、規定ヲ設ケテ居リマス、詰リ此信託會社ト云フモノハ斯ノ如ク總社債權者ノ爲ニ擔保權ヲ享有シ又之ヲ實行スルモノデアゴザイマスカラシテ、信託會社ト云フモノハ餘ホド信用ノアルモノデアナケレバナラヌ、ソレデドウ云フモノデアリマシテモ此信託ノ事業ヲ引受ケテ宜シト斯ウ云フ譯ニ參リマセヌデアゴザイマス、ソレデ先ツ信託ノ業務ト云フモノヲ引受ケマスルモノハ會社デナケレバナラヌデアスウ云フ規定ヲ設ケマシタ、之ヲ會社ニ限リマシタ理由ハ右申上ゲマスル通り此信託ノ事業ト云フモノハ非常ナ信用ヲ要スルモノデアリマス、且又其引受ケマスル所ノ業務ノ範圍ト云フモノハ随分廣イデアリマス、時ニ依リマシテハ非常ナ多額ナ金ヲ他人ノ爲ニ保管スルト云フ状態ニ立至リマスコトデアリマスルデアゴザイマス、是ハ個人

ノ事業ト致シマシテハ極メテ不適當ナ點ガ多カラウト思ヒマス、成ルホド個人デアリマシテモ充分ノ財産ヲ持チ又世間ニ於キマシテ充分ノ信用ノアリマスル人モアルノデゴザイマスルガ、併ナガラ個人デアリマスルト云フト何時死スルカ分ラヌ、サウ致シマスルト云フト比較的長ク續キマスル所ノ信託關係ニ付キマシテ、折角最初頼シテ人ガ其人ヲ信用シテヤテ居リマシタ所ガ、其人ガ突然死シテ仕舞ッタ、斯ウ云フコトニナリマシテハ大變困リマスノデス、ソレニ付キマシテハ矢張り會社ヲ以テ信託會社ニ當アルト云フコトガ穩當デアラウト思ヒマス、ソレカラ又隨分此信託ノ業務ト云フモノハ範圍ノ廣イモノデゴザイマスシ、又其業務ノ執行ニ付キマシテモ色々ムツカシイコトモ起テ參リマスノデ、之ヲ實行イタシマスルニ附キマシテハ相當ノ機關モ無ケレバナラヌ、其機關ヲ備ヘテ居リマスルモノハドウモ會社デアリマセヌト云フト先ヅ無イ、斯ウ申シテモ宜カラウト思ヒマス、ソレデ之ヲ會社ニ限ルコトニ致シマシタ、ソレカラ又會社ノ中ニ付キマシテモ尙資本ノ額ヲ限リマスルト云フ制限ヲ設ケテ置キマシタ、是亦同様ノ主意デアリマス、ソレカラ又此會社ノ業務ト云フモノハ最モ信用ヲ重ンズルモノデゴザイマスカラシテ、之ニ對シマシテハ主務官廳ノ監督ト云フモノガ最モ必要ニナッテ參リマスノデゴザイマスカラ、此主務官廳ノ監督ニ關スル規定モ通則ニ置キマシタ次第デアリマス、ソレデ原則ト致シマシテハ唯今申シマスル通り會社ト云フモノハ、イツモ受託會社デナケレバナラヌ、即チ日本ノ會社ガ受託會社ニ相成リマシテ、サウシテ主務官廳ヨリ嚴重ナル監督ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニ相成リマシタノデゴザイマスルガ、併シ是ハ内國ノ間テ社債ヲ募集イタシマスルト云フ場合デアリマスレバ、イツモ日本ノ會社ガ受託會社ニ相成リマシテ、ソレデ十分運用ノ付キマスルコトハ勿論デゴザイマスルガ、外國テ社債ヲ募集スル時ニナリマスルト云フト兎ニ角、社債權者ト云フモノハ外國ニ居ル譯デゴザイマスカラ、受託會社ガ日本ニ在ルト云フコトデアリマスルト云フト、隨分外國ノ社債權者ニ取リマシテハ餘ホド不便ナコトニ相成ラウト思ヒマス、ソレデ外國テ社債ヲ募集イタシマスル場合ニ限リマシテ、特ニ主務官廳ヨリ外國會社ヲ受託會社トスルコトガ出來ル、斯ウ云フ例外ノ規定ヲ一ツ置キマシタノデゴザイマス、マア是ハ通則ニ關シマスル大體ノコトヲ申上ゲタコトニナリマス、ソレカラ次ニ通則ニ次ギマス所ノ第二章ノ信託證書デアリマス、是ハ唯今申シマシタ委託會社ト受託會社トノ契約、其契約ニ依リマシテ信託ニ依ル所ノ法律關係ガ出來ルノデアリマスルガ其契約ニ付キマシテハドウ云フ事項ヲ必要トスルカト云フコトヲ規定イタシマシタモノデアリマス、詰リ大體ヲ申上ゲマスレバ其契約ト云フモノハ書面ヲ以テ出サケレバナラヌ、サウシテ其書面ヲ信託證書トスル名稱ヲ附シマシタ、先ヅ其要件等ノ詳細ニ至リマシテハ各條文ニ規定シテゴザイマスルカラ、何レ又御質問デモゴザイマスルナラバ御答イタシマセウ、ソレカラ第三章ノ社債募集ト云フ所ニ移リマス、愈、此信託契約ヲ締結イタシマシテ社債ヲ募集イタシマスルニ付キマシテノ條款ト云フモノガ定マリマシタ後ニ社債ヲ募集シナケレバナリマセヌノデゴザイマスルガ、其社債ノ募集ニ附キマシテハ勿論商法ノ規定ハ當然適用セラレ、コトニナリマスルガ、唯此信託契約ニ依リマスル場合ニハ物上擔保ト云フコトガ附イテ居リマスルシ、又受託會社ト云フコトガ這入ッテモ居リマスルノデゴザイマスカラ、之ガ爲ニ特別ニ商法規定以外ノ法則ヲ設ケル必要ハアリマス、ソレカラ殊ニ此社債募集ノ所ニ就キマシテ御注意ヲ願ッテ置キタイコトハ、委託會社ノ方テ社債ヲ募

集イタシマセヌデ其募集行爲ト云フモノヲ受託會社ニ委任スルコトガ出來ルト云フ條項ヲ設ケテアリマス、此委任ガゴザイマスルト云フト詰リ一般ノ社債ノ募集ニ應ジマス者ハ先ヅ此受託會社ト云フモノヲ目當ニ致スコトニナラウト思ヒマスカラシテ、ソレデ此場合ニハ債券ノ發行デアリマスルカ或ハ社債ノ償還利息ノ支拂等ニ關シマスルコトハ總テ受託會社ノ方ニ權限ヲ持タセル、斯ウ云フコトニ致シマス、勿論信託契約ヲ反對ノ規定ヲ設ケレバ是ハ別段デアラ、ソレカラ次ニ御注意ヲ願ッテ置キマスコトハ、受託會社ノ方テ社債ノ總額ヲ先ヅ引受ケルコトガ出來ルト云フ斯ウ云フ規定ヲ置キマシタ、是ハ普通ノ場合デアリマスルト云フト、各社債應募者ハ委託會社ノ方ニ金ヲ直接ニ拂込ミマスルコトニナルノデゴザイマスルガ、此受託會社ノ方テ社債ノ總額ヲ引受ケマス場合ニハ先ヅ社債ト云フモノガ一ト纏マリニナリマシテ受託會社ガ社債ノ全部ト云フモノヲ享有スルト云フコトニナリマス、ソレカラ此受託會社ノ方テ引受ケマシタ社債ト云フモノヲ分割イタシマシテ一般ノ人ニ讓渡ス、斯ウ云フコトニナリマス、初メカラ一般ノ人カラ募集スルト云フ方法ニ換ヘマシテ詰リ受託會社ト云フモノガ一遍、中ニ這入りマシテ自分ニ全部ノ社債ヲ引受ケテ置イタ、ソレヲ分割シテ一般ノ人ニ讓渡ス、斯ウ云フコトニナリマス、此場合ニ於キマシテハ受託會社ガ社債ノ募集ニ關スル行爲ヲ引受ケマシタ場合ト同様デ、一般ノ公衆ト云フモノハ殊更ニ受託會社ト云フモノヲ目當ニ致スデアラウト思ヒマス、ソレデ此場合ニ於キマシテハ受託會社ガ總テ前ノ場合ト同様ニ社債ノ償還、利息ノ支拂等ニ關シマスル所ノ權限ト云フモノヲ享有スルコトニ致シテ居リマス、ソレカラモウ一ツ此章ニ於キマシテ御注意ヲ願ヒタイコトハ、此委託會社受託會社ハ第三者ヲシテ社債ノ總額ヲ引受ケサセルコトガ出來ル、斯ウ云フ規定ヲ置キマシテゴザイマス、是ハマア内國テ社債ヲ募集イタシマス場合ニハ左ホドノ必要ヲ感ジマセヌカ知リマセヌガ、外國テ社債ヲ募集イタシマス場合ニ此規定ガアリマセヌト不便ナコトガ起ラウト思フノデゴザイマス、受託會社ハ日本ニ在テ外國テ社債ヲ募集スル、サウシテ社債募集ニ應ズル者ハ外國ニ在ル、此場合ニ於キマシテ一々各應募者カラシテ委託會社ナリ或ハ又受託會社ノ方ヘ金ヲ拂ハセル、斯ウ云フコトニナリマスレバモウ餘ホド不便デアリマス、斯ウ云フ場合ニハ此外國ニ居リマスル所ノ第三者ト特ニ契約ヲ致シマシテ、サウシテ其者ニ先ヅ全部ヲ引受ケサセマシテ、サウシテ前ノ受託會社ニ讓渡シマス場合ト同シヤウナ手續ヲ、サウシテ第三者カラ一般ノ人ニ社債ヲ分割シテ讓渡ス、斯ウ云フ方法ニ致シマシタノデゴザイマス、先ヅ此第三章ニ就キマシテ特ニ御注意ヲ願ッテ置キタイ點ハ右等ノ點デアリマス、ソレカラ此第四章ニ移リマシテ債券、此債券ニ就キマシテハ特ニ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、唯一般ノ商法ノ規定ニ據リマシテ必要ト致シテ居リマス所ノ債券ノ記載事項トソレニ擔保ヲ附シマス場合又信託契約ニ依リマス場合ト自ラ違ハナケレバナラヌ點ガ自然ニ出テ參リマスルノデゴザイマスルガ、其點ヲ規定イタシマシタ、ソレカラ受託會社ガ委託會社ニ代ジテ債券ノ發行ヲ致シマス場合ニ就キマシテハ是ハ商法ニゴザイマセヌ規定ヲ必要ト致シマスカラ其規定ヲ置キマシタ、ソレカラ第五章ノ社債原簿、此社債原簿ニ就キマシテハ大體ハ勿論商法ノ規定ニ據リマスルノデゴザイマスルガ、唯此場合ハ社債原簿ニ記載スル事項ト云フモノハ自ラ此商法ノ普通ノ場合ニ異ッテ居リマス結果カラ致シマシテ、商法ノ規定ト違ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレカラ此

場合ニ就キマシテ一ツ特別ノ規定ガ要リマスノハ、委託會社此社債原簿ヲ作リマス
場合ハ矢張り其原簿ノ謄本ハ受託會社ノ方テ持テ居リマセト色々不便ノコトガ生
マスカラ、其規定ヲ特ニ加ヘマシテ、ソレカラ今一ツ特別ノ規定ハ受託會社ガ此委託會
社ニ代リマシテ社債ヲ發行シタ場合ニハ、ドウモ此社債原簿ハ受託會社ノ方テ作リ
マセト云フト不便デゴザイマスカラ、ソレデ其規定モ特ニ加ヘテ置キマシテ、ソレデ第
五章ニ就キマシテハ格別申上ケル程ノコトモゴザイマセヌ、ソレカラ此第六章ノ社債權者集
會、社債權者集會ノ規定デアリマス、此社債權者集會ト云フモノヲ特ニ設ケマシテ
由ハ、受託會社ト云フモノガ總社債權者ノ利益ノ爲ニ擔保權ヲ執行イタシマシタリ
又其他總社債權者ノ爲ニ種々債權執行ニ就キマシテ行爲ヲ致サナケレバナラヌ人
アリマス、サウシテ又此受託會社ト云フモノハ債權者總體ノ利益ヲ始終計ラナケレバ
ラヌ人デアアルノデゴザイマス、然ルニ此受託會社ト云フモノハ總社債權者ノ爲ニドウ云
コトデモ出來ルカト云フニ、ソレハ出來ナイデアリマス、總社債權者ノ爲ニ爲シ得ベキ
事柄ト云フモノハ限ラレテアリマス、言換ヘテ見マシテ其權限ト云フモノハ勿論制限セ
ラレテ居ルノデゴザイマス、テ若シ何等規定ガゴザイマセヌ以上ト云フモノハ、自分ノ權限
ニ屬シマセヌ事柄ニ就キマシテ執行スル事ガ必要トナッテ參リマスルト云フト、社債權者
全體ノ同意ヲ得ナケレバナラヌト云フヤウナ結果ニナルノデゴザイマス、サウナリマシテハ到
底此動キハ取レナイ、ソレカラ殊ニ又總社債權者ノ爲ニ利益ニナリマスル事デアリマシテ
モ、其一部分ノ社債權者、極メテ少數ノ者ガ不同意ヲ唱ヘマスト、其事ハ行ハレナイト
云フコトニナルデアリマス、詰リ少數ノ者ノ意見ニ依リマシテ多數ノ者ノ利益ト云フモ
ノガ害セラレルト云フヤウナ結果ニナリマス、ソレデハドウモ斯ウ云フ多數ノ社債權者ノ爲
ニ事ヲ行フト云フ場合ニハ甚ダ不當ノ結果ヲ生ズルコトニナリマス、ソレデ社債權者集會
ト云フモノヲ設ケマシテ、此第六章ニ掲ゲマシタル所ノ規定ニ依リマシテ、社債權者集
會ニ於キマシテ決議ヲ致シマシタ事柄ト云フモノハ、縱令社債權者ニ不同意ノ者ガアリ
マシテモ、其決議ニ依リマシテ事ヲ行フト出テ來ル、斯ウ云フ拘束ヲ設ケマシタノデゴザ
イマス、ソレカラ此社債權者集會ノ章ノ中ニ社債權者集會ニ於キマシテ代表者ヲ選任
イタシマシテ社債權者集會ノ權限ニ屬シマスル事ヲ決定セシムルコトガ出來ルト云フ條
項ヲ設ケマシテ、是ハ詰リ所一切ノ事柄ニ就キマシテハ社債權者集會ヲ一々召集イタ
シマシテ討議スルト云フコトニナリマスト云フト隨分不便ノコトガ多ク、時ニ依リマス
トソレ
デハ間ニ合ハヌト云フヤウナ事モ起ルノデゴザイマスカラシテ、豫メ此社債權者集會ヲ代
表者ヲ置キマシテ此代表者ニ社債權者集會ノ爲ベキ事ノ全部又ハ一部ヲ任セルコト
ガ出來ル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、ソレカラ今一ツ大切ノ點ハ、此社債權者集會ニ於
キマシテハ決議スベキ事項ト云フモノヲ限定イタシテ置キマシテ、此限定イタシマシタ範圍
ハ此法律ニ規定ノアリマスル場合カ或ハ信託證書ヲ特ニ定メテ居リマスル場合ニ限ッテ
決議ガ出來ルト云フコトニ致シマシテ、是ハ或ハ窮屈デアルト云フヤウナ感モゴザイマス
カモ知レマセヌガ、併シ兎ニ角此社債權者集會ニ於キマシテ社債權者總體ノタメニ爲ス
ベキコトヲ決スルノデゴザイマスカラシテ、サウ何デモ出來ルト、斯ウ云フコトニナリマス
ト云フト、之ニ同意ヲ致シマセヌ所ノ社債權者ノ權利ヲ害スルト云フヤウナ結果ニモナリマ
スルノデゴザイマスカラ、ソレデ此點ハ一般社債權者ヲ保護イタシマスル方面カラ考ヘマ

シテ必要ト認メマシタデアリマス、ソレカラ第七章ニ移リマス、第七章ノ信託契約ノ效力
ト云フ章デアリマス、是ガ此法律案ノ骨子ニ相成ラウト考ヘマス、大體ノ法律關係ハ
最初私ガ申上ケマシタ通りノ次第デアリマス、其事ハ此七十條以下ニ規定シテアル
ンデゴザイマス、詰リ先刻申シマシタ法律關係ハ第七十條ノ規定ヲ明確ニ致シマシタ積
リデアアルデアリマス、ソレデ此效力ノ内テ特ニ御注意ヲ願フテ置キタイコトハ、此社債權
者ト云フモノハ、擔保ノ利益ヲ享有イタシマスルニ付キマシテハ、總社債權額ニ應ジマシ
テ共同ニ享有スルト云フコトニ致シマシタ、詰リ或ル社債權者ト云フモノハ、他ノ社債權
者ヨリカ餘計ナ利益ヲ持ツト云フコトハ禁ジマシタデアリマス、ソレカラ次ニ御注意ヲ願
ヒタイコトハ、信託契約ニ依リマシテ設定イタシタ物上擔保ト云フモノハ、マダ此社債
成立チマセヌ前デモ效力ガアルト云フコトノ規定ヲ置キマシタデアリマス、詰リ未來ノ債
權ニ付キマシテモ、矢張り擔保ノ效力ガアルト云フコトヲ規定イタシマシタデアリマス、
ソレカラ次ニ此擔保權ノ實行ニ付キマシテ、此受託會社ト云フモノハ、總社債權者ノ
爲デナケレバ行ハ出來ナイ、或ル一人ノ爲ニ行使スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ規定ヲ
置キマシタデアリマス、是ハ詰リ各社債權者ト云フモノハ平等ニ擔保ノ利益ヲ享有イ
タシテ居ルト云フ規定ヨリ致シマシテ當然生ズル結果ト考ヘマス、ソレカラ次ニ大切ナ規
定ハ社債ヲ發行イタシマシタ方ノ會社社債ノ一部ヲ定期ニ償還イタシマスル場合、其
場合ニ一部ノ實行ヲ怠リマシタト云フ場合デアリマス、其場合ニ總社債權者ノ爲ニ受
託會社ガ擔保權ノ實行ヲ直ニナスト云フコトハ出來ナイ、デアリマスカラサウ云フ場合
ニハ或ル條件ノ下ニ全部ノ社債ニ付キマシテ期限ノ利益ヲ失ハシムルト云フ規定ヲ置キ
マシテゴザイマス、ソレカラ利息ノ仕拂ヲ遲延イタシマシタ場合モ矢張り同一ノ結果ニナ
リマス、ソレカラ此信託契約ノ效力中ニ受託會社ト云フモノハ此擔保權ノ實行ノミデゴ
ザイマセヌデ、社債權者ニ屬シマスル所ノ債權ヲ社債權者ノ爲ニ實行スルコトガ出來ル、
斯ウ云フ規定ヲ置キマシテ、是ハドウモ純粹ノ信託ノ關係以外ノモノデゴザイマスケレ
ドモ、併シ擔保權ヲ一方ニ於テハ實行スル、併ナガラ一方ニ於テハ此債權ノ實行ニ付テ
ハ何等ノ權限モ無イト云フコトニ付テハ甚ダ不釣合ノコトニナリマシテ、非常ニ不便デゴ
ザイマスカラシテ、債權ノ實行ヲ受託會社ニ於テ或ル條件ノ下ニ爲ス權限ヲ有スルト云
フ、斯ウ云フコトニ定メマシタデアリマス、ソレカラ次ニ此信託契約ノ所定メテ置キマ
シタコトハ、受託會社ト委託會社トノ關係デアリマス、テ其關係ハ先ヅ第一ニ此受託
會社ト云フモノハ信託事務ノ處理ニ付キマシテ、相當ノ報酬ヲ請求スルコトガ出來ルト
云フコトト、ソレカラ又信託事務ノ處理ニ付キマシテ費用ヲ支出シ或ハ又損害ヲ受ケマ
シタトキハ、其賠償ヲ委託會社ノ方ニ請求ガ出來ル、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタデアリ
マス、是ハ詰リ本法ニ依リマスル所ノ信託ノ引受ト云フコトハ商會社ノ爲シマスルコ
トデアリマシテ、一種ノ營利事業ニ相成ルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテ報酬ヲ請
求スルコトガ出來ルト云フコトハ商法ノ規定カラモ當然生ズルコトデアリマスガ、唯此
報酬ヲ受託會社ニ拂ヒマスルモノハ委託會社デアルト斯ウ云フ事ニ極メマシタ點ガ此報
酬ノコトニ付キマシテハ商法ノ規定以外ニ必要ナ條項ニナリマス、ソレカラ費用ノ支出
又損害ノ賠償ニ付キマシテモ同様ノ規定ヲ置キマシテ、是ハ斯ウ云フ法律關係ニ於キマ
シテハ當然ノ結果デ別ニ理由ヲ申上ケル必要モ無イト考ヘマス、ソレカラ最後ニ此受託

會社ノ方テ擔保權ヲ消滅セシメマスルトカ、其他此委託ノ事項ニ背イテ居ルト云フヤウ
 ナ場合ニ於キマシテ、相當ノ保護ヲ社債權者又ハ委託會社ノ方ニ與ヘナケレバナリマセ
 ヌカラ、其規定ヲ最後ニ置キマシテ、テ此效力ノコトニ付キマシテ細カイ點ハ何レ後ニ申
 上ケル機會モゴザイマセウト考ヘテ居リマスガ、先ヅ大體ノ點ダケヲ申上ケテ置キマス、ウ
 レカラ此第八章ノ「信託事務ノ承継及終了」ト云フ所ニ移リマス、テ此信託事務ノ承
 繼ト云フコトハ本法ニ特別ノ規定デゴザイマス、テ此本法ニ依ル信託事務ト云フモノハ
 隨分永ク繼續イタシマスルモノデゴザイマスカラシテ、其間ニ或ハ受託會社ノ情況ト云フ
 モノガ變更シテ參ルト云フ虞ハ初メカラ見込デ置カナケレバナラヌデゴザイマス、或ハ其
 財產ノ情態ト云フモノガ變更イタシマシテ最早受託事務ヲ處理スルニ付テ不適當ナル
 ト云フ情態ニ陷ルコトモアリマセウシ、ソレカラ又其他ノ事由ヨリ致シマシテ受託會社ノ
 方テ其信託事務ヲ繼續シテ行クト云フコトハ隨分迷惑ナルト云フ情態ニ陷ラヌニモ限
 ラナイデゴザイマス、サウ云フ場合ニハ一定ノ條件ヲ設ケマシテ此受託會社ト云フモノ
 ガ信託事務ヲ辭スルト云フコトガ出來ル、サウ云フ規定ヲ置キマシテ、ソレカラ又次ニハ
 解散ノ場合ニ於キマシテハ申上ケルマデモナク最早此引受ケマシテ信託事務ヲ繼續シテ
 行クコトガ出來ナイデゴザイマスカラシテ、ドチラニ致シマセ前ニ結ビマシテ所ノ信託契約
 ノ條款ニ從ヒマシテ、其受託會社ガ繼續シテ事務ヲ處理シテ行クコトガ出來ナイ様ニナ
 ルデゴザイマス、斯ノ如ク受託會社ト云フモノガ其事務ヲ繼續シテ行クコトガ出來ナイ
 様ニナリ、或ハ又辭任イタシマシテ結果、最早繼續シナイコトニナル、斯ウ云フ場合ニ此
 信託事務ヲ誰モ處理スル者ガ無イト云フコトニナリマスカラ、擔保權ノ享有者モ無ク又
 實行者モ無クナッテ仕舞フ、サウ致シマスルト云フト擔保附ノ社債ノ運用ト云フモノハ全
 ク出來ナイコトニナリマス、ソレデサウ云フ場合ニ誰カ其事務ヲ繼承スルト云フ者ガ是非
 トモ無ケレバナリマセヌ、ソレデ此繼承ニ關スル所ノ規定ヲ第八章ニ置キマシテノデアリマ
 ス、ソレカラ此終了ノコトニ付キマシテハ唯一箇條最後ニ規定ヲ置キマシテ、是ハマア一
 般ノ法則ニ從ヘバ宜シイノデ、特ニ此法案ニ特別ノ規定ヲ設ケルホドノ必要モ無カラウト
 思ヒマス、ソレカラ次ハ第九章ノ罰則デゴザイマス、是ハ別ニ申上ケルコトモゴザイマセヌ、
 ソレカラ此最後ノ附則デゴザイマス、是モ別ニ申上ケテ置クコトモゴザイマセヌガ、唯非訟
 事件手續法デアリマスルトカ、或ハ登記法ノ規定、是ダケデハ此信託法ヲ運用シテ參リ
 マスルニ付キマシテ足りマセヌ所ガゴザイマスカラ、ソレヲ此附則デ大體補ヒマシテ積リデゴ
 ザイマス、極ク大體ノ御話デゴザイマシテ隨分多數ノ條文モゴザイマスノデ、又中ニハ餘ホ
 ド込入ッテ規定モ設ケテ置キマシテノデアリマスカラ、御質問ニ應ジマシテ御答イタシマ
 ス積リデゴザイマス

- 副委員長(松岡康毅君) 諸君如何デゴザイマセウ、モウ今日ハ是デ閉會ニ致シマセ
 ウカ、若クハ多少ノ御質問デモ……
- 總積八束君 チョット一ツ二ツ尋ネテ宜シウゴザイマスカ
- 副委員長(松岡康毅君) ソレデハサウ云フコトニ致シマス、十二時マデ……
- 總積八束君 何レ條文ニ付テ又此處テ御議シニナルコトデゴザイマセウカラ、條文上
 ノコトハ實ハ未ダ讀ンデモ居リマセヌシマスガ、唯大體ノ仕組ノコトガ私ハ斯ウ云フコトハ
 不案内デ能ク分リマセヌカラ御尋ネシテ置キマス、物上擔保ト云フモノハ其擔保權ハ受

託會社ニアルノデ、受託會社ガ抵當權又質權者デアル、斯ウ云フ様ナ極メナノデスカ
 ○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デゴザイマス
 ○總積八束君 サウシマス、チョットアノ通常世上ニ言ヒマスル根抵當ヲ置クト云フ
 様ナコト、同ジコトニナリマスカ、擔保權ト云フモノハ未ダ實際債券ヲ發行セストモ既ニ
 信託契約ヲ擔保ト云フ保障ノ權ハ成立ッテ居ルモノト斯ウ云フ様ナ法律ニナッテ居ルノ
 デハナイノデスカ

- 政府委員(平沼騏一郎君) 左様デゴザイマス、詰リ根抵當ノ様ナ關係ニナリマシ
 テ、未來ノ債權ニ付キマシテモ擔保權ノ效力ハアル、斯ウ云フコトニナリマス
- 總積八束君 ソレカラチョット心配ニ考ヘルノハ此擔保權ヲ行使スル場合ニハ何時モ
 債權者ノ集會ノ決議ニ依ッテ信託會社ガ實行スルト云フ様ナ仕組ニナッテ居リマスナ、サ
 ウシテ見マスト云フト少數債權者ノ個々ノ利益ト云フモノヲ能ク保護シテヤラヌト云フ
 ト、債權者集會ノ多數決デヤラレルト云フト隨分少數者ガ困ル様ナコトハ起ッデハイケマ
 セヌガ、ソレハ能ク此法律ノ中ニ保護が見テアルノデアリマセウカ、例ヘバ債權者ガ擔
 保權ノ一部ヲ拋棄スルト云フ様ナ極端ナコトヲスル場合ニ少數債權者ガ異議ヲ言ッ
 テモ多數決テ其擔保ガ皆取ラレル様ナ不安心ナコトハ少數者ガ困ララウト思ヒマス
 ガ、ソコ等ハ能ク見テアリマスカ
- 政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ注意イタシマシテ積リデゴザイマス
- 總積八束君 其制限ハ條文中ニ書イテゴザイマスカ
- 政府委員(平沼騏一郎君) 詰リ此條文ノ中ニ制限的ニ書イテアリマスコトト、最
 初ノ信託契約ノ定メ方、ソレニ依リマシテ範圍ト云フモノガ極ルコトニナリマス、少數
 社債權者ト云フモノガ不意討ヲ食フ損ヲスル、サウ云フコトハ無イトト考ヘマス
- 總積八束君 例ヘバ豫メ信託契約デ此債權者集會デ決議シ得ベキ事項ヲ制限シ
 テ置クト云フ様ナコトハ無論出來ルノデセウナ
- 政府委員(平沼騏一郎君) 左様デゴザイマス、寧ロ斯ウ云フコトニナリマス、社債
 權者集會デ決議スベキ事項ト云フモノハ此法律ニ書イテアリマス場合カ、或ハ信託契
 約ニ書イテアリマス場合ノ外ハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス
- 總積八束君 ソレカラ終リニ信託會社ト云フモノハ其事業ノ外ニ銀行事業ナドヲ兼
 ネテスルモノ、様ニ最初ノ方ニドツカ見エテ居リマシタガ、無論サウデセウガ、サウスルト云
 フト信託會社ガ自己ノ取引ノ爲ニ破産ヲスルトカ何トカ云フ場合ニ至ッテ、此債權者ノ
 擔保權ト云フモノハ特別ニ矢張り保護サレテ居ル様ナ法律ニナルノデアリマスカ
- 政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ其積リデゴザイマス、詰リ信託會社ガ破産ヲ致
 シマシテ解散イタシマスト云フト、ソレハ此承継イタシマス會社ガ擔保權ヲ總テ承継スル、
 斯ウ云フ規定ニ致シテ置キマシタ
- 總積八束君 有難ウ、尙能ク條文ヲ讀ンデ見マス、私ノ質問ハ是マデ……
- 富井政章君 特別ノ事柄デアリマスケレドモ、今丁度總積君カラ質問ニナリマシタ
 事柄ニ關シテ居ルノデ、總積君ハ極端ナ例ヲ引カレテ擔保ヲ拋棄スルト云フ場合ニ通
 常ノ多數決ニ依テ極メテハ不都合デハナイカト云フヤウナ話ガアリマシタガ、五十二條ヲ
 チョット見マスト唯「議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス」ト云フコトノ例外トシテ五ツカハッ

カノ場合が但書ニ擧ゲテアル此七十五條ニハ「擔保ヲ變更スルコトヲ得」トアリマスガ、是ヨリハ重大ナ擔保ヲ拋棄シテ仕舞フト云フコトハ、チヨット見エナイヤウデスガ何所カニアリマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 此法律ノ中ニハ擔保ノ拋棄ト云フコトハゴザイマセヌ

○富井政章君 サウスルトツレハ矢張り當リ前ノ過半數決行クノデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 若シ信託契約ニ定メテアリマス場合デゴザイマセヌカ

○富井政章君 信託契約ニハ假ニ何トモ云フテ無イ、其變更ガアレバ拋棄ハ尙更ムツカシクナラナクテハナラヌ

○政府委員(平沼騏一郎君) 御答イタシマスガ、信託契約ニ若シ何等ノ規定ガアリマセヌト云フト、ツレハ出來ナイコトニナラウト考ヘマス

○富井政章君 社債權者總會ニ於テ議決シ得ル範圍ト云フモノハ、サウ明瞭ニ極メテアリマスガ、チヨット見當リマセヌガ第何條ニアリマセウ

○政府委員(平沼騏一郎君) 第五十八條デス

○富井政章君 其解釋デ大丈夫デゴザイマセウカ、信託契約ニ何トモ書イテナイ、元來初メカラ擔保ノ附イタ社債アルカラ、其擔保ガマルデ無クナツテ仕舞フト云フコトハ

信託契約ノ根本カラ崩レテ仕舞フカラ、ソレハ到底出來ナイト云フヤウナコトガ言ヘレバ宜シウゴザイマセケレドモ、擔保ハドモ從タルモノデアル、元ハ矢張り社債其モノデアル、其社債ガ裸ニナルト云フデケノコトデ、サウ云フ無擔保ノ社債ニスルト云フコトハ解釋上出來ルヤウナコトニナル虞レハ少シモ無イデセウカ

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ虞レハ無イ積リテ居リマス、詰リ受託會社ト云フモノハ成ルホド擔保權ノ名義人デハゴザイマスガ、自己ノ爲ニ行使スルコトノ出來ナイモノデアリマシテ、結局社債權者ノ利益ノ爲ニ行使スベキモノデアルノデアリマスカラ、自分ノ勝手ニ之ヲ處分スルト云フヤウナコトハ當然出來ナイコトニナラウト云フ考デゴザイマス

○馬屋原彰君 私ハ社債權者ノ決議權ノコトニ付テ少シ何ツテ置キタイ、此五十二條ノ末項ニアリマス通り「最低金額毎ニ一箇ノ議決權ヲ有ス」トナツテ居リマス、是ハ商法ノ方デモ大體斯ウナツテ居ルヤウデアリマスガ、併ナカラ商法ノ方デハ但書ガアツテ御承知ノ通り十一株以上ノ株主ノ議決權ト云フモノニハ制限ガ置イテアルノデアリマスガ、此法案デハ其制限ハ無クシテ總テ一箇毎ニ決議權ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスガ、サウシマスド云フモノデアリマセウカ、先刻穂積サンノ御尋ニナツテ此少數ノ社債權者ノ爲ニハ甚ダ不利益デアアルマイカト考ヘマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 御尤ナ御尋デゴザイマスガ、商法ノ株主總會ノ場合ノ規定ノ如キモノヲ此所ニ置カウカト云フ考モ起シタコトモゴザイマスガ、併シ此社債權者ノ集會ト株主總會ノ場合トニ付キマシテハ大分違フ所モゴザイマスルシ、兎ニ角多數ノ社債ヲ保護イタシマスルト云フ方ノ精神カラ此規定ヲ設ケマシタノデ、先ヅ此社債權者集會ニ付キマシテハ商法ノヤウナ規定ヲ置クニモ及ブマイ、是テ左ホド不都合ナコトモ生ジマイト云フ考デ、サウ云フ規定ハ置キマセナンダノデアリマス

○馬屋原彰君 モウ一ツ伺ヒマスガ、ソレデハ八十二條……此場合ハ私ハ少シ又後マデ

ニ考ヘマシテ少シ質問ノ範圍ヲ廣メタイト思ヒマスカラ、是ハ止メマスガ、モウ一ツ序デニ伺ツテ置キマスガ、此中デ何條デアリマシタカ、此業務ヲ主務官廳カラシテ差止メル場合ガアリマシタガ、業務ノ取消……

○政府委員(平沼騏一郎君) 十二條デゴザイマセウ

○馬屋原彰君 左様デゴザイマスガ、此第十二條ノ場合ハ是ハ矢張り此法案ニハ何トモアリマセヌガ、無論訴訟所謂訴訟願ナドハ許スト云フコトデアラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 第十二條ノ……

○馬屋原彰君 免許ノ取消、事業ノ停止、サウ云フ場合……

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハ特ニ終局トスルト云フコトヲ書イテ置キマセヌデゴザイマシタ、即チ一般ノ規定ニ依リマス積リデゴザイマス

○馬屋原彰君 宜シウゴザイマス

○富井政章君 各條ニ付テノ質問ハ際限ガアリマセヌカラ控ヘル積リデアリマスガ、今一ツ一般ニ互ルコトデ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、條文デハ第四條即チ擔保ノ種類ヲ列記シテアル所ノ第七ニ鑛業抵當ト云フコトガアリマス、他ノ項ハ動産質トカ不動産抵當トカ、工場抵當トカ明ニ示シテアツテ、終ヒノ鑛業抵當タケ鑛業ト云フコトニシテ無形ノ事業ヲ示シテアリマスガ、是ハドレダケノモノガ抵當ノ目的ニナルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ、其鑛山トカ云フ有形ノ物體バカリテナク營業權マデモ含ムト云フ譯デ鑛業抵當ト云フ文字ヲ用非ラレタノデアルカ、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラ今一ツハ此七種ハ制限ノデアラウト思ヒマスガ、其外ニ開ク所ニ依レバ今ニモ森林抵當法案トカ云フモノガ出ルサウデゴザイマスガ、森林ナドガ此中ニ無イノハ森林ニ抵當ヲ付ケルノハ減多ニ無イコトデアラウ、實際其必要ガ無カラウト云フ所デ省カレタノデアラウト考ヘマスガ、果シテサウデアルカ、サウデアルトスレバ例ヘハ棧橋抵當法案ガ出來ルト云フ風説デゴザイマスガ、ソレモ同理由デ、サウ云フモノハ實際出來ヤウガ無カラウカラ、必要ヲ認メヌト云フ趣意デアルカ、其一ニ點ヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 勿論第四條ニ於キマシテ第一カラ第七マデ掲ゲマシタノハ之ニ限ルト云フ趣意デゴザイマス、而シテ此第七ノ鑛業抵當デゴザイマスガ、他ノハ皆物ヲ示シテ置イテ獨リ是ノミ鑛業ト云フ無形ノモノニナツテ居リマス、是ハ追ツテ鑛業抵當法ト云フモノヲ設ケマシテ、何レ提出ニナルコトト信ジマス、ソレデ鑛業抵當ノ内容ハマダ出マセヌコトデアリマスカラ、正確ニ今日申上ケルコトハ出來マセヌガ、此中ニ鑛業所有權ト云フ無形ノモノガ這入りマスコトニナルダラウト考ヘマス、ソレデ名稱ヲ鑛業抵當ト其方ノ法案デ名ツケマス積リデゴザイマス、故ニ其名稱ヲコ、ニ現ハシタノデアリマス

○富井政章君 サウスルト營業ヲヤルノガ抵當ノ目的デゴザイマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デゴザイマス、ソレカラ森林抵當ニ關シマス法案ハ何レ出マス場合ニ相成ラウト考ヘマス、併シ是ハ不動産抵當ノ中ニ這入りマスル考デゴザイマス、唯此不動産抵當ニ付キマシテ特別ノ規定ガ加ハルダケデゴザイマス、無論不動産抵當ノ中ニ入レテ置イテ差支ナイト考ヘマスノデアリマス、ソレカラ其以外ニ又種

種ノ抵當法ヲ設ケマスル必要モ追々起ルデゴザイマセウガ、マダ現今ノ所デ其法案モ出
來テ居リマセヌヤウナ次第デゴザイマス、ソレデ若シ別種ノ抵當ガ出來マシタラバ或ハソレ
ヲ加ヘル必要ガ起ルカモ知レヌト思ヒマスガ、先ヅ現今ノ所デハ是ダケテ十分ト思ヒマス
○富井政章君 尙ソレニ關聯シテ伺ヒマスガ、唯今森林抵當ハ不動産抵當ノ中ニ這
入ルト云フ御説デアリマシタガ、森林モ土地ニ定著スル限リハ不動産ト云フガ特別ニ抵
當ノ目的ニナルカト云フコトニ付テハ、是マデ隨分議論ノアルコト、考ヘテ居リマスガ、サ
ウ云フコトハ今度ノ森林抵當法案ニハ自ラ明ニナルト云フ御考デゴザイマスガ
○政府委員(平沼騏一郎君) 何レサウナリマセウト考ヘマスガ、出マシタ曉テ或ハ如何
ナリマセウカ、チヨット今日其御答ヲ正確ニ致シマスコトハ出來マセヌデゴザイマス
○富井政章君 實際其必要ハアリマスマイナ、減多ニ森林ヲ擔保トシテ社債ヲ發行ス
ルコトハ實際ナイコトデゴザイマセウ

(穂積八束君「隨分アルデゴザイマセウ」ト述フ)

○馬屋原彰君 チヨット一箇條御尋イタシタウゴザイマスガ、逐條ニ付キマシテハ尙段々
伺ヒタイコトモアリマスガ、今日ハ先ヅ大體ニ關係シタコトダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、此
第五條ニ特別ノ法律ニ依ル場合ヲ除外、主務官廳ノ許可ヲ得ナケレバ信託事業ガ
出來ナイト云フコトニナツテ居リマスガ、此特別ノ法律ニ依ル場合ト云フノハ、即チ外國
ノ或ル會社ガ信託事業ヲヤル場合デアラウカト思ヒマスガ、マダ其外ニモドウカニ云フ場
合ガアリマセウカ、チヨット伺ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 此特別ノ法律ニ依リト云フモノハ現今ノ所デハ信託
事業ヲドウ云フ會社ニヤラセルト云フ特別ノ法律ハ澤山ニゴザイマセヌガ、興業銀行法
ノ中ニ信託事業ヲ爲サシムルト云フコトガ規定シテゴザイマス、唯今ノ處デハマアソレデ
ゴザイマス

○馬屋原彰君 興業……

○政府委員(平沼騏一郎君) 興業銀行法デゴザイマス

○馬屋原彰君 重モニ是ハサウ云フ内地ノモノニ付テ設ケラレタノデゴザイマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デゴザイマス

○副委員長(松岡康毅君) モウ一二三分デゴザイマスケレドモ、大體ノ御質問ニ止メ置
キマシテ、尙次會ヨリ詳シク御質問ニナツタ方ガ宜シカラウト存ジマス

○富井政章君 會日ノコトハ全ク委員長ノ全權内ニアルコトデアリマスルガ、一ツ希望
ヲ述ベテ置キタイ、是ハ隨分大部ノ法案デアリマシテ會期モ短イノデアリマスカラ、多數
ノ御方ノ差支ヘ無イト云フコトデアリマスレバ毎日開イテ早ク片附ケテ仕舞フト云フコト
ヲ希望スルノデアリマス

○副委員長(松岡康毅君) 如何デアリマスル、格別御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ毎日開クト云フコトニ致シマセウ、サウ致シマスル
ト明日ニモ議事ガゴザイマセズバ午前十時ヨリ、若シ議事ガゴザイマスレバ議事散會後、
斯ウ云フコトニ致シマシテ宜シウゴザイマスルカ

(「宜シウゴザイマス」ト述フル者アリ)

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ今日ハ是デ御仕舞ニ致シマス
午後零時三分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 松岡 康毅君

委員

子爵堤 功長君

平山 成信君

馬屋原 彰君

穂積 八束君

國務大臣

司法大臣 波多野敬直君

政府委員

大藏省參事官 塚田達二郎君

司法省參事官 平沼騏一郎君

子爵新莊 直陳君

男爵吉川 重吉君

富井 政章君

名村 泰藏君

男爵藤大路親春君

木下 廣次君

司法次官 石渡 敏一君